

# 衆議院北朝鮮による拉致問題等に関する 特別委員会ニュース

H24.6.1 第 180 回国会第 4 号

6 月 1 日（金） 第 4 回の委員会が開かれました。

## 1 北朝鮮による拉致問題等に関する件

- ・参考人から意見を聴取しました。
- ・政府参考人及び参考人に対し質疑を行いました。

（参考人）北朝鮮による拉致被害者家族連絡会代表	飯塚 繁 雄君
北朝鮮による拉致被害者家族連絡会事務局長	増元 照 明君
北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会会長	西岡 力君
特定失踪者問題調査会代表	荒木 和 博君
福井県立大学教授	
（北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会副会長）	島田 洋 一君
特定失踪者拉致認定訴訟原告代表	竹下 珠 路君

（質疑者及び主な質疑内容）

### 柴橋 正直君（民主）

- ・拉致被害者などに関する情報収集を行うための拉致問題対策本部関係予算の執行率が上がっていない理由を伺いたい。
- ・特定失踪者について情報収集経費が十分に使われていないとする荒木参考人の発言についての見解を政府に伺いたい。

### 古屋 圭司君（自民）

- ・中国における北朝鮮による米国人留学生拉致疑惑（2004 年 8 月 14 日）について、近郊の溪谷を散策中に転落死したとする中国の発表が誤りであることを客観的に証明する状況証拠などについて、島田参考人に伺いたい。また、政府が米国政府に対して行っている働きかけの具体的内容を伺いたい。
- ・日本から北朝鮮に現金を持ちこむ際の届出額について、今年に入ってからの実績額を財務省に伺いたい。
- ・自民党が北朝鮮のミサイル発射後に、官房長官に対して行った制裁強化に関する申入れについての政府の対応はどうなっているか。
- ・北朝鮮当局が山本美保さんを拉致した可能性が高く、刑事訴訟法第 47 条但書の認める事由に相当するにもかかわらず、DNA 鑑定書が公開されない理由を政府に伺

いたい。

- ・米国のキャンベル国務次官補が、拉致問題と子の親権問題を同一視するような発言をした（平成 24 年 5 月 7 日）ことに対し、政府は抗議を行ったか。またそれに対する弁明はあったか。
- ・ロスレティネン米下院外交委員長の 5 月の訪韓に合わせた訪日の要請を政府は行ったのか。

### 竹内 譲君（公明）

- ・米国の北朝鮮政策について、増元参考人が訪米時（平成 24 年 5 月）に受けた印象を伺いたい。
- ・拉致問題と子の親権問題を同一視する声が米国にあることに関し、拉致問題についての米国議会の認識を政府に伺いたい。

### 笠井 亮君（共産）

- ・拉致被害者市川修一さんの死亡情報について、増元参考人が、政府からどのような説明を受けたのかを伺いたい。
- ・拉致被害者の再調査について、政府に対する要望を飯塚参考人に伺いたい。

### 渡辺 義彦君（きづな）

- ・特定失踪者山本美保さんの事件への山梨県警及び警察庁の対応について、荒木参考人の見解を伺いたい。
- ・山本美保さんの失踪に関する現在の捜査体制を政府に伺いたい。
- ・政府の答弁書（平成24年4月20日、5月18日）で言及している山梨県警における捜査状況について、警察庁においても同様の認識を持っているのか。

### 中島 隆利君（社民）

- ・特定失踪者拉致認定訴訟取下げ後、特定失踪者家族に対する政府の対応に変化があったのかどうかについて、竹下参考人に伺いたい。

### 江藤 拓君（自民）

- ・日本人拉致問題については日本主体で取り組むべきであるという考えについての西岡参考人の見解を伺いたい。
- ・日本が北朝鮮をテロ支援国家に指定すべきだという考えについての増元参考人の見解を伺いたい。
- ・拉致問題について政府全体として連携を強化できているのか。また、米国と連携した金融制裁の強化についての見解や、国連との協力についても政府に伺いたい。
- ・北朝鮮からの再入国の原則禁止措置の対象拡大の可否について、政府の見解を伺いたい。
- ・今年1月からの北朝鮮向け銀行口座間の送金の総額はいくらか。

### 長尾 敬君（民主）

- ・金正恩の統治体制について、西岡参考人の評価を伺いたい。
- ・報道で日本が接触しているとされる北朝鮮政府高官の交渉相手としての適格性の有無について、西岡参考人の見解を伺いたい。

### 向山 好一君（民主）

- ・拉致被害者の生存を前提にとの言葉が増元参考人からあったが、拉致被害者の生存を否定するジャーナリストの田原総一郎氏の発言に対し、拉致被害者家族が訴訟を起こしたことに家族会の思いを伺いたい。また、外務省は拉致被害者の生存を前提にしていないとの田原氏の発言に対する思いも合わせて伺いたい。
- ・現在実施している経済制裁に加えて、停滞している拉致問題を動かすために必要な方策について、家族会の見解を伺いたい。

### 谷田川 元君（民主）

- ・今年5月に訪米し、多くの米国議会関係者と面会した参考人に、拉致問題に対する米国議会のスタンスについての印象を伺いたい。

### 後藤 祐一君（民主）

- ・北朝鮮が体制崩壊した際の韓国の対応、また、拉致被害者の安全確保策、法律上の整備も含め、日本が準備しておくべきことについて、西岡参考人の見解を伺いたい。

### 櫛淵 万里君（民主）

- ・北朝鮮などの人道に対する罪について調査を行う事実調査委員会（Commission of Inquiry）を国連に設置すべきという意見について、家族会の見解を伺いたい。

### 小野塚 勝俊君（民主）

- ・北朝鮮への金融制裁に関してあまり積極的でないと言われる欧州諸国の対北朝鮮政策について、西岡参考人及び増元参考人の見解を伺いたい。

### 高野 守君（民主）

- ・拉致問題解決に向け、今後、国会・委員会がどのように活動していくべきか、また、国際連携についての見解を西岡参考人に伺いたい。